

平成26年度事業計画

当協会は、島根県の情報産業基盤の強化・振興に資するため、情報化の普及啓発と人材育成をめざすとともに、地域の情報化促進を図るため、次の事業を行う。

〔事業の概要〕

1. 会議

協会活動の指針を策定するとともに会員相互並びに諸団体との交流を図り、会員相互の連携強化と協会活動の円滑な運営を目的とした会議を開催する。

2. 関連機関・団体との協調

島根県をはじめとして経済産業省、総務省、また地元の商工団体、しまね産業振興財団等関係諸団体との連携強化を図り、地域の情報化促進並びに情報産業振興のための事業を実施する。

3. 上部団体等との連携

(社)情報サービス産業協会（JISA）をはじめとする国の外郭団体との連携強化を図り、協会事業の推進について支援を要請する。また関連する情報・資料等の入手に努め会員へ綿密な連絡を図る。

4. 広報活動と情報交換

定期的に機関紙「しまね情産協」を発行するとともに、関係の機関や団体との情報交流を図る。

5. 人材の育成

進展するIT社会の中にあって、情報関連の技術・多様化するニーズに対応する人材の育成を目的とした各種研修会、講習会、セミナー等を開催する。特に、高度IT技術推進や市場開拓等ができる人材の育成に積極的に取り組む。

6. 組織強化

島根県内の情報産業及び関連産業の企業に対し、新規会員の参加を呼びかけ、協会基盤の拡大と強化を図る。

委員会の活性化について

現在、3つの委員会があります。

- ・総務委員会 会報の編集、総会・新年会の運営、その他他の委員会の担当に属さない事項
- ・地域情報化委員会 研修の支援、情報化月間の運営
- ・組織強化対策委員会 会員勧誘・レクレーションの運営

地域情報化委員会に会員が集中しており、実質委員会を開催するということが出来ていません。委員会は会員相互の交流の場であると考えており、交流ができるような仕組みにしたいと思えます。以下に新年度の委員会およびWG(ワーキンググループ)の体制を示します。

- ① 総務委員会 事務局支援および会員交流
委員長 石碓(オネスト)
総務 WG 総会・新年会の運営、会報の発行
主査 安部(松江情報センター) 副主査 渡部(山陰中央テレビジョン放送)
会員交流 WG スポーツ・レクレーションの開催
主査 石碓(オネスト) 副主査 秀浦(マイメディア)、北村(島根情報処理センター)
- ② 人材育成委員会 人材育成全般
委員長 吉岡(テクノプロジェクト)
企業研修 WG 会員企業向け研修の計画・実施
主査 北村(島根情報処理センター) 副主査 吉岡(テクノプロジェクト)
新人研修 WG 新入社員向け研修の開催
主査 浅田(プロビズモ) 副主査 北村(島根情報処理センター)
教育機関連携 WG 教育機関向け IT 教育の支援、学との連携
(中学・高校・高専・大学およびポリテク)
主査 杉原(日本ハイソフト) 副主査 浅田(プロビズモ)
- ③ 地域情報化委員会 イベントの開催
委員長 今岡(ワコムアイティ)
メンバー 長嶺(ごうぎんシステムサービス)、長崎(ミック)
- ④ オープンソース委員会 Ruby を代表するオープンソースの普及・発展
委員長 井上(ネットワーク応用通信研究所)
メンバー 佐藤(マツケイ)、竹内(コンピュータ・コンサルタント)

※現在、組織強化対策委員会で行っている「会員勧誘」は、会長・副会長の担務とします。

各委員会（総務・人材育成委員会は WG レベル）のメンバーを正会員・賛助会員より募集し、各委員会の構成員を確定します。各委員会には、会員企業の代表者だけでなく、幹部社員や若手の参加を奨励するものです。

少なくとも、行事・イベントなどのタイミングで年1回以上の委員会・WGを開催します。

以上